

# **第十堰環境調査 調査速報**

**( 春期調査、夏期調査：鳥類 )**

**平成16年7月**

**徳島河川国道事務所**

### 1. 調査目的

本調査は「よりよい吉野川づくり」に向けた今後の方針（平成16年4月27日）に沿った第十堰現状調査の一環であり、今後の第十堰補修検討等の基礎資料とするものです。

### 2. 調査区域

吉野川 第十堰及びその周辺



### 3. 調査実施概要

調査項目	春期調査実施日	夏期調査実施日
植物調査	平成16年5月15日・27日	-
鳥類調査	平成16年5月18・19日	平成16年6月18・19日
小動物調査	平成16年5月30・31日	-
陸上昆虫类等調査	平成16年5月18・19・31日	-

### 4. 調査結果概要

調査項目	春期調査 確認種数	夏期調査 確認種数
植物調査	64科214種（特定種4種）	-
鳥類調査	11目20科27種（特定種1種）	10目20科27種（特定種1種）
小動物調査	5目7科8種（特定種なし）	-
陸上昆虫类等調査	16目130科255種（特定種なし）	-

## 5 . 調査内容

### a) 植物調査

調査区域における植物相の把握のため、調査範囲内を広範囲に踏査し、出現する植物種を目視により確認、種名を記録しました。現地での同定が困難な植物については、標本を採取、分析室に持ち帰り、再同定しました。



植物調査実施状況

また、下記に示す基準に該当する植物については、『特定種』として、生育位置、生育環境をあわせて記録しました。

#### 特定種選定基準（植物）

選定対象	特定種選定基準資料
種・個体	国，県，市町村指定の天然記念物
種	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』 の国内希少野生動植物種の指定種
種	環境庁編（1976）『緑の国勢調査 - 自然環境保全基礎調査報告書』 におけるすぐれた自然調査対象種
種	環境庁編（2000）『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 植物（維管束植物）』掲載種
種	徳島県（2001）『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 - 徳島県版レッドデータブック - 』掲載種

b)鳥類調査

調査区域における鳥類相の把握のため、一箇所に留まって鳥を記録する定点記録法、一定の速度で歩行しながら鳥を記録するラインセンサス法による調査を行いました。

あわせて、調査範囲内を任意に踏査し、「繁殖の場」、「埒」として利用されているかどうかを確認・記録しました。



定点記録法の調査実施状況



ラインセンサス法の調査実施状況

また、下記に示す基準に該当する鳥類については、『特定種』として、確認位置、確認環境をあわせて記録しました。

**特定種選定基準（鳥類）**

選定対象	特定種選定基準資料
種・個体	国，県，市町村指定の天然記念物
種	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』 の国内希少野生動植物種の指定種
種	環境省編（2002）『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 2 鳥類』掲載種
種	徳島県（2001）『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 - 徳島県版レッドデータブック - 』掲載種

### c)小動物調査

調査区域における哺乳類相、両生類・爬虫類相の把握のため、目撃法・フィールドサイン法調査、トラップ法調査、夜間無人撮影装置による確認調査を行いました。

#### 目撃法・フィールドサイン法調査

調査範囲内を任意に踏査し、生体の目撃やフィールドサイン（足跡、食痕、糞、脱皮殻等、動物の生活痕）の確認により、生息種を把握しました。

確認した生体及びフィールドサインは、大きさ、色等の特徴を確認地点の様子とともに調査票に記録し、写真撮影を行いました。



目撃法・フィールドサイン法調査実施状況

#### トラップ法調査

目撃、フィールドサインによる確認が困難であるジネズミ類、ネズミ類を対象としてラットトラップ調査を行いました。また、モグラ類等を対象としたモグラトラップ調査を行いました。

##### ・ラットトラップ調査

主にヒミズ、ネズミ類を対象とし、ラットトラップ（シャーマン型トラップ）を設置した。誘因餌には生ピーナッツ等の餌を使用しました。トラップは調査区域内の3地点に設置しました。



ラットトラップ設置状況

・モグラトラップ調査

前述の「目撃法・フィールドサイン法調査」でモグラの坑道が確認された箇所にモグラトラップを設置しました。



モグラトラップ設置状況

夜間無人撮影装置による確認調査

昼間だけでは確認困難な夜行性の哺乳類の生息実態の把握のため、前述の「目撃法・フィールドサイン法調査」で哺乳類が頻繁に利用していると考えられるけもの道、小径等が確認された箇所に、夜間、無人撮影装置を設置し、生息種の確認を行いました。



無人撮影装置状況

また、下記に示す基準に該当する小動物については、『特定種』として、確認位置、確認環境をあわせて記録しました。

特定種選定基準（小動物）

選定対象	特定種選定基準資料
種・個体	国，県，市町村指定の天然記念物
種	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』 の国内希少野生動植物種の指定種
種	環境庁編（1976）『緑の国勢調査 - 自然環境保全基礎調査報告書』 における「すぐれた自然の調査」対象種
種	環境省編（2002）『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 1 哺乳類』掲載種
種	環境省編（2002）『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 3 両生類・爬虫類』掲載種
種	徳島県（2001）『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 - 徳島県版レッドデータブック - 』掲載種

#### d)陸上昆虫類等

調査区域における陸上昆虫類相の把握のため、飛翔・昼間活動中の昆虫類を対象とした一般採集法、地面徘徊性の種を対象としたベイトトラップ法、ガ類等走光性を持つ種を対象としたライトトラップ法の3つの手法を用いて調査を行いました。

##### 一般採集調査

調査区域踏査中に捕虫網等を用い、草や木の枝をなぎ払うようにして捕獲するスウィーピング、木の枝等にしがみついた昆虫類を叩き落として捕獲するピーティング、また石や倒木を掘り起こし、その下に潜む昆虫類等を捕獲する等、環境に応じて様々な手法を用いて陸上昆虫類等の採集・確認調査を行いました。



一般採集調査実施状況

##### ベイトトラップ調査

ベイト（餌：さなぎ粉）を入れたプラスチックカップを地面に埋設し、一晩放置した後回収し、カップの中に落下した昆虫類等の種類等を記録しました。

トラップは調査区域内の3地点に設置しました。



ベイトトラップ設置風景



ベイトトラップ設置状況

### ライトトラップ調査

調査区域内を生息の場として利用している陸上昆虫類の把握を念頭に置き、採集範囲が比較的狭いボックス法によるとライトトラップ調査を行いました。

ライトトラップは日没と同時に調査区域内の1地点に設置、ライトを点灯し、一晩放置した後、回収、採集された昆虫類等の種類等を記録しました。



ライトトラップ（ボックス法）の設置状況

また、下記に示す基準に該当する陸上昆虫類については、『特定種』として、確認位置、確認環境をあわせて記録しました。

#### 特定種選定基準（陸上昆虫類）

選定対象	特定種選定基準資料
種・個体	国，県，市町村指定の天然記念物
種	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』 の国内希少野生動植物種の指定種
種	環境庁編（1976）『緑の国勢調査 - 自然環境保全基礎調査報告書』 における「すぐれた自然の調査」対象種
種	環境庁編（1980）『日本の重要な昆虫類』における指標昆虫及び特定昆虫
種	環境庁報道発表資料（2000）『無脊椎動物（昆虫類、貝類、クモ類、 甲殻類等）のレッドリストの見直しについて』掲載種
種	徳島県（2001）『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 - 徳島県版レッドデータブック - 』掲載種



## 6. 調査結果

### a) 植物

春期調査の結果、下記に示す64科 214種の植物が確認されました。

上堰上では、樹木としてはアカメヤナギが最も多く、このほかヨシノヤナギ、アキニレ、ウツギ等が確認されました。草本では、水際近くを中心にツルヨシが最も広く分布しているのが確認されたほか、オギ、クサヨシ等が散在していました。

右岸河川敷上では、上堰上の樹木と比較するとより大きな樹木が確認されました。前述の樹木のほか、センダン、オニグルミ、ムクノキ、エノキ等の樹高10m前後の樹木も少なくありません。草本では、水際部を中心にツルヨシ、ヨシ、クサヨシ、マコモ等が確認されたほか、ツル性植物のクズ、アレチウリ等がまとまってみられるのが特徴的でした。

分類群			科	種	
シダ植物			7	10	
種子植物	裸子植物		1	1	
	被子植物	双子葉植物	離弁花類	34	103
			合弁花類	12	49
		単子葉植物		10	51
合計			64	214	
外来種			17	52	
外来種率 (%)			24.3		

特定種は合計4種確認されましたが、種名は盗掘を避けるため記載を控えることとしました。確認された特定種は選定基準の『改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—植物 I (維管束植物)』(環境庁編, 2000)、『徳島県の絶滅のおそれのある野生生物—徳島県版レッドデータブック—』(徳島県, 2001)のいずれか、あるいは両方に該当する種でした。



上堰上 15.0km付近ではツルヨシが繁茂しています



上堰上15.2km付近ではアカメヤナギが繁茂しています



第十堰下流の中州



右岸側の河川敷部



ヨシノヤナギ



アキニレ



センダン



センダン (花)



ウツギ



ウツギ (花)



オニグルミ



クサヨシ

# 春季現地調査確認種リスト

番号	門	亜門	綱	亜綱	科	種名	学名	外来種
1	シダ植物				イワヒバ	クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i>	
2					トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>	
3						イヌトクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i>	
4					イノモトソウ	イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i>	
5					チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>	
6					オシダ	ヤブソデツ	<i>Cyrtomium fortunei</i>	
7						イノデ	<i>Polystichum polyblepharum</i>	
8					ヒメシダ	ミゾシダ	<i>Stegogramma pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>	
9						イブキシダ	<i>Thelypteris esquirolii</i> var. <i>glabrata</i>	
10					メシダ	シケシダ	<i>Deparia japonica</i>	
11	種子植物	裸子植物			マツ	クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>	
12		被子植物	双子葉植物	離弁花類	クルミ	オニグルミ	<i>Juglans ailanthifolia</i>	
13					ヤナギ	アカメヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>	
14						ネコヤナギ	<i>Salix gracilistyla</i>	
15						オオタチヤナギ	<i>Salix pierotii</i>	
16						タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	
17						ヨシノヤナギ	<i>Salix yoshinoi</i>	
18					ニレ	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i>	
19						エノキ	<i>Celtis sinensis</i> var. <i>japonica</i>	
20						アキニレ	<i>Ulmus parvifolia</i>	
21					クワ	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i>	
22						カナムグラ	<i>Humulus japonicus</i>	
23						トウグワ	<i>Morus alba</i>	
24					イラクサ	カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>concolor</i>	
25						アオミズ	<i>Pilea pumila</i>	
26					ビャクダン	カナビキソウ	<i>Thesium chinense</i>	
27					タデ	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>	
28						オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>	
29						イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i>	
30						ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i>	
31						ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i>	
32						ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i>	
33						イタドリ	<i>Reynoutria japonica</i>	
34						スイバ	<i>Rumex acetosa</i>	
35						アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i>	○
36						ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>	○
37						ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i>	
38					ナデシコ	ノミノツツリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i>	
39						オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>	○
40						ナンバンハコベ	<i>Cucubalus baccifer</i> var. <i>japonicus</i>	
41						カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	
42						ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>	
43						ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>	○
44						マンデマ	<i>Silene gallica</i> var. <i>quinquevulnera</i>	○
45						ノミノフスマ	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>	
46						ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>	
47						コハコベ	<i>Stellaria media</i>	○
48						ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>	
49					アカザ	シロザ	<i>Chenopodium album</i>	
50						アカザ	<i>Chenopodium album</i> var. <i>centrorubrum</i>	○
51						ケアリタソウ	<i>Chenopodium ambrosioides</i>	○
52					ヒユ	ヒナタイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>	
53					クスノキ	クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i>	
54					キンポウゲ	ヒメウズ	<i>Aquilegia adoxoides</i>	
55						センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>	
56						ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>	
57					アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>	
58					ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus orbiculatus</i>	
59					ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	
60					ケシ	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> var. <i>asiaticum</i>	
61						ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>	
62					アブラナ	セイヨウカラシナ	<i>Brassica juncea</i>	○
63						ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>	
64						タネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i>	
65						マメゲンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	○
66						イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>	
67						スカシタゴボウ	<i>Rorippa islandica</i>	
68					ベンケイソウ	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>	
69					ユキノシタ	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i>	
70					バラ	ヘビイチゴ	<i>Duchesnea chrysantha</i>	

# 春季現地調査確認種リスト

番号	門	亜門	綱	亜綱	科	種名	学名	外来種	
71	種子植物	被子植物	双子葉植物	離弁花類	バラ	ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i>		
72						テリハノイバラ	<i>Rosa wichuraiana</i>		
73						クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i>		
74						ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>		
75					マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>		
76						クロバナエンジュ	<i>Amorpha fruticosa</i>	○	
77						カワラケツメイ	<i>Cassia mimosoides</i> ssp. <i>nomame</i>		
78						ツルマメ	<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>		
79						メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>		
80						セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i>	○	
81						ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> var. <i>japonicus</i>		
82						クズ	<i>Pueraria lobata</i>		
83						コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>	○	
84						ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>	○	
85						シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	○	
86						ヤハズエンドウ	<i>Vicia angustifolia</i>		
87						ナヨクサフジ	<i>Vicia dasycarpa</i> var. <i>glabrescens</i>	○	
88						スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i>		
89					カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>		
90						ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>	○	
91						オッタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>	○	
92					フウロソウ	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>	○	
93					ミカン	ユズ	<i>Citrus junos</i>		
94					センダン	センダン	<i>Melia azedarach</i>		
95					ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i>		
96						マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>		
97						マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>		
98					ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>		
99						ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i>		
100					アオイ	フユアオイ	<i>Malva verticillata</i>	○	
101					グミ	アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i>		
102					スミレ	スミレ	<i>Viola mandshurica</i>		
103						ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i>		
104						ノジスミレ	<i>Viola yedoensis</i>		
105					ウリ	ゴキヅル	<i>Actinostemma lobatum</i>		
106						アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>		
107						アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	○	
108					アカバナ	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>	○	
109						コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>	○	
110					ウコギ	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>		
111					セリ	ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>		
112						セリ	<i>Oenanthe javanica</i>		
113						オヤブジラム	<i>Torilis scabra</i>		
114					合弁花類	アカネ	オオフタバムグラ	<i>Diodia teres</i>	○
115							ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>	
116							カワラマツバ	<i>Galium verum</i> var. <i>asiaticum</i> f. <i>nikkoense</i>	
117							ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>	
118							アカネ	<i>Rubia argyi</i>	
119					ヒルガオ	ヒルガオ	<i>Calystegia japonica</i>		
120					ムラサキ	キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>		
121					クマツツラ	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>		
122					シソ	トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>		
123						カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> var. <i>grandis</i>		
124						ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>		
125						メハジキ	<i>Leonurus japonicus</i>		
126						ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i>		
127					ナス	クコ	<i>Lycium chinense</i>		
128						イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>		
129					ゴマノハグサ	マツバウシラン	<i>Linaria canadensis</i>	○	
130						サギゴケ	<i>Mazus miquelii</i>		
131						トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i>		
132						タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>	○	
133						ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i>		
134						オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>	○	
135					オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i>		
136						タチオオバコ	<i>Plantago virginica</i>	○	
137					スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>		
138					キキョウ	キキョウソウ	<i>Specularia perfoliata</i>	○	
139						ヒナギキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i>		
140					キク	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiaefolia</i> var. <i>elatior</i>	○	

# 春季現地調査確認種リスト

番号	門	亜門	綱	亜綱	科	種名	学名	外来種
141	種子植物	被子植物	双子葉植物	合弁花類	キク	カワラヨモギ	<i>Artemisia capillaris</i>	
142						ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>	
143						オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i>	
144						アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	○
145						コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>	○
146						ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	○
147						ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>	
148						タチチコグサ	<i>Gnaphalium calviceps</i>	○
149						チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>	
150						チチコグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>	○
151						キツネアザミ	<i>Hemistepta lyrata</i>	
152						ニガナ	<i>Ixeris dentata</i>	
153						ヨメナ	<i>Kalimeris yomena</i>	
154						アキノゲシ	<i>Lactuca indica</i>	
155						コオニタビラコ	<i>Lapsana apogonoides</i>	
156						セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	○
157						ヒメジョオン	<i>Stenactis annuus</i>	○
158						カンサイタンポポ	<i>Taraxacum japonicum</i>	
159						オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i>	
160	種子植物	被子植物	単子葉植物		ユリ	ノビル	<i>Allium gravi</i>	
161						ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>	
162					ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>	
163						オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>	
164					アヤメ	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>	○
165						オオニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium graminoides</i>	○
166						ヒメヒオウギズイセン	<i>Tritonia crocosmaeflora</i>	○
167					イグサ	イ	<i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i>	
168						コウガイゼキショウ	<i>Juncus leschenaultii</i>	
169						ホソイ	<i>Juncus setchuensis</i> var. <i>effusoides</i>	
170						クサイ	<i>Juncus tenuis</i>	
171						スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>	
172					ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	
173					イネ	カモジグサ	<i>Agropyron tsukushiense</i> var. <i>transiens</i>	
174						コヌカグサ	<i>Agrostis alba</i>	○
175						ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> ssp. <i>matsumurae</i>	
176						ハナヌカススキ	<i>Aira elegans</i>	○
177						スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> var. <i>amurensis</i>	
178						メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	○
179						ミノゴメ	<i>Beckmannia syzigachne</i>	
180						ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>	○
181						イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>	○
182						ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>	○
183						シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	○
184						トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i>	
185						チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	
186						ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	○
187						ミノボロ	<i>Lophochloa cristata</i>	
188						オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	
189						キシウスズメノヒエ	<i>Paspalum distichum</i>	○
190						クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>	
191						ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	
192						ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>	
193						ハチク	<i>Phyllostachys nigra</i> var. <i>henonis</i>	
194						ネザサ	<i>Pleiblastus chino</i> var. <i>viridis</i>	
195						メダケ	<i>Pleiblastus simonii</i>	
196						スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>	
197						オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>	○
198						ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i>	
199						カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i>	
200						ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i>	○
201						ムラサキナギナタガヤ	<i>Vulpia octoflora</i>	○
202						シバ	<i>Zoysia japonica</i>	
203					ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	
204					サトイモ	セキショウ	<i>Acorus gramineus</i>	
205					ガマ	ガマ	<i>Typha latifolia</i>	
206					カヤツリグサ	アオスゲ	<i>Carex breviculmis</i>	
207						アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i>	
208						カサスゲ	<i>Carex dispalata</i>	
209						マスクサ	<i>Carex gibba</i>	
210						ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>	
211~214、このほか特定種4種								

b

注) 外来種選定にあたって参考とした文献

- ・『雑草の自然史—たくましさの生態学—』付表「日本への帰化植物一覧表」(山口裕文. 北海道大学図書刊行会. 1997)
- ・『原色日本帰化植物図鑑』(長田武正. 保育社. 1986)
- ・『日本帰化植物写真図鑑—Plant invader600種—』(清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七. 全国農村教育協会. 2001)
- ・『一報資料—我が国の移入種(外来種)リスト(2002年5月版)』(環境省. 2002)
- ・『外来種ハンドブック』(日本生態学会. 地人書館. 2002)
- ・『日本の帰化植物』(清水建美. 平凡社. 2003)
- ・『河川における外来種対策に向けて(案)』(外来種影響・対策研究会. 財団法人リバーフロント整備センター. 2001)